

山行報告書

作成: 2009年3月28日

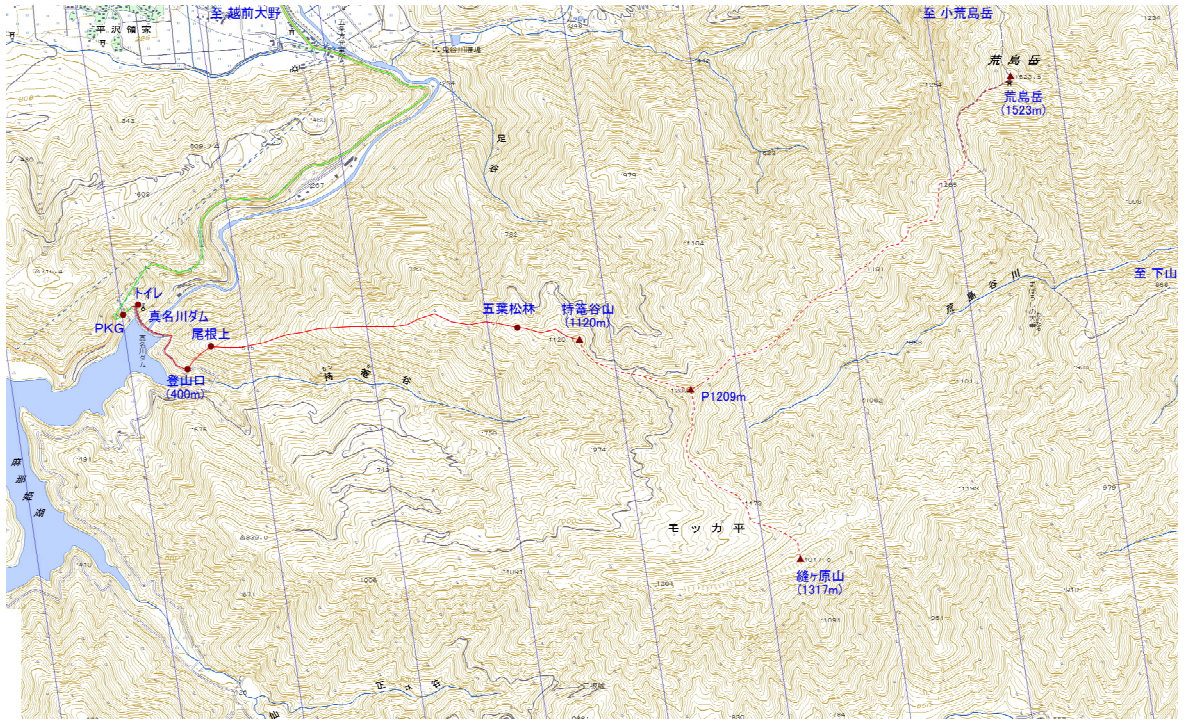
愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	持箆(モッカ)谷山 [奥越]	目的[方法]	白山、荒島岳展望
期間	2009年3月15日(日)	形態	日帰りハイキング
参加人数	4人		

行動記録: 3/15(日)

河合池運動公園 P(455) =0:05= 豊田東 IC(500) =0:44= 長良川 S A(555,622) =0:05= 美濃 IC(627) =0:30= 白鳥 IC(657) =0:43= 道の駅「九頭龍」(740,746) =0:44= 真名川ダム P(830,858) -0:19- 登山口(917,921) -0:22- 尾根(943,948) -2:09- 五葉松林(1157,1205) -0:19- 持箆谷山(1224,1315) -1:40- 尾根上(1455) -0:30- 登山口(1525) -0:20- 真名川ダム P(1545,1602) =0:21= あっ宝んど(1623,1730) =0:05= 福そば陽明店(1735,1805) =1:25= 郡上八幡 IC(1930) =0:30= 美濃加茂 S A(2000,2015) =0:35= 豊田松平 IC(2050) =0:15= 河合池運動公園 P(2105)

概念図:



日誌:

朝の渋滞と長良川 S A の混雑を予想していたが、高速は順調に進んだ。郡上あたりから山に雪が掛かり、白鳥 IC を降りてからは雪道となる。真名川ダムまでは除雪されている。冬でも行きやすい雪山の一つであるようだ。真名川ダム P では、積雪約 10 センチ。やや離れたところにトイレがあり、トイレをすませ新雪の駐車場に車を止める。

出発すると 3 名のトレースがあり、先行パーティ(?) の後に行く。ダムを渡り、登山口を探しながら林道を歩く。一旦通り過ぎるも、目を凝らすと右斜め上に向かって道が見える。何の道標もなくわかりにくい。登山口に入るための擁壁を悪戦苦闘してよじ登る。尾根上までジグザグの急登を行う。曲がり道がわかりにくく注意が必要。

尾根上からは、新雪歩き。ワカンなしで歩ける。五葉松林までは緩やかな登り、天候は曇りだが霧氷も見れ静かな雪山を堪能する。五葉松林に出ると急に視界が開ける。ここからの展望は大野平野、荒島岳(見えるはず)、遠くに白山も見えるであろう。山頂に近づくとつれ雲の切れ間が見え、最後の急登を登ると 360 度の展望で、小山ながらかなり見晴らしがよい。次第に晴れ、雲に隠れていた荒島岳が姿を現す。

下りは、行きでは雪に埋もれていた笹が起き上がり、滑りやすく絡み易い。予想外に時間がかかる。雪溶けの道にセリバオウレンを発見。木の下にたくさん隠れていた。尾根上からの下りは雪がなくなりよく滑る。トレースもなくなり、道がさらにわかりにくい。今日一番の難関に冷や汗が出る。

林道に出ると、朝とは別世界。雪はすっかり溶けている。帰りは安全に帰路に着く。途中、「あっ宝んど(あったかランド)」で汗を流し、福そば陽明店で名物「おしぼりそば」を十二分堪能する。

豊田東 ~ 美濃 ¥1,250【通割】 美濃 ~ 白鳥 ¥650【通割】
郡上八幡 ~ 豊田松平 ¥1,550【通割】

感想: 季節外れの真っ白い新雪に、雪山シーズン到来かと錯覚しそうな感覚にうきうきして登山を楽しむことができた。また、持箆谷山の抜群の展望がとても気持ち良かった。雪山はいいけれど、雪解けの滑る下山は苦手である。得手になるまでには、もう少し経験が必要かな。筋力も。